

満開の桜に家族連れなどにぎわう 4年ぶりにのじりこびあ桜まつり開催



当日は小雨の降る中での開催となりましたが、多くの家族連れなどにぎわい、満開の桜を楽しみながらイベントを満喫していました

3月26日、「第12回のじりこびあ桜まつり」が開催されました。オープニングでは「せんぐまき」が行われたほか、ステージイベントでは東麓新地馬場棒踊り保存会による棒踊りなどが披露されました。また、500円以上買い物をした人を対象に、宮崎牛やめろめろメロンなどが当たる抽選会も行われ、会場は大いに盛り上がりました。

あかつき福祉協会がレクリエーション大会

3月25日、障がい者の活動支援団体の小林市あかつき福祉協会（早田孝信会長）がレクリエーション大会を開催しました。会員25人が参加し、白いボールまでの距離を競う「ボッチャ」や、楕円形のボールを転がして得点を競う「オーバルボール」を楽しみました。



小林小のくすの木をライトアップ

3月26日、小林小のシンボルである「くすの木」がライトアップされました。同校のおやじ会メンバーが、新型コロナウイルスで行事の中止や縮小が続いた6年生に最後の思い出を作ってあげたいと企画したもので、当日は星のソムリエによる星空観察会なども行われました。



三松中男女ハンドボール部が 全国大会出場を市長に報告

3月23日、三松中男子・女子ハンドボール部の選手らが市長を表敬訪問し、全国大会への出場を報告しました。同部は、1月28日、29日に開催された宮崎県中学校ハンドボール選手権大会で優勝し、富山県で3月25日～29日に開催される第18回春の全国中学生ハンドボール選手権大会への出場権を獲得。10年ぶりに男女揃って全国大会へ出場する同部に市長は「練習の成果を発揮して、支えてくれた方々の期待に応えられるよう頑張ってください」と激励しました。



男子主将の竹山昊さん（三松中3年）は「支えてくれた多くの方々への感謝の気持ちを忘れず県代表として頑張りたい」と意気込みました

まきばの桜まつり 2023 が開催 多様な催しに幅広い年代が楽しむ



市内外のイベントなどで小林市の観光や魅力を発信してきた、第36代コスモスレディである中島彩華さんと上野晴香さんの退任式も行われました

3月25日、「まきばの桜まつり2023」が開催されました。ステージイベントなどの催しが本格的に開催されるのは3年ぶり。宮崎県内の物産展「さくら市」や花の苗の配布、スケッチ大会などのイベントに約3500人が来場。まきばの桜まつり恒例の夜桜花火も開催され、夜空を彩る花火に会場からは歓声と拍手が起きました。

貧困や発達障害、不登校など子どもが抱える諸問題を考える



橋満代表は「貧困問題を子どもだけの問題として捉えず、ひとり親が安心して相談できる居場所をつくるということが重要」と話していました

4月12日、貧困問題など子どもたちが抱える諸問題について考えるシンポジウムが小林ロータリークラブ（永山ちづ子会長）主催で開催されました。第1部では、市内でひとり親家庭への食料品の支援などを行う@poketの橋満里美代表が講演。第2部では、貧困問題や発達障害、不登校についてのパネルディスカッションが行われました。

20年以上にわたり尽力 リサイクル品分別指導員9人を表彰

4月6日、リサイクル品分別指導員として通算20年以上尽力してきた9人への功労者表彰と、新たに指導員になる約260人への委嘱状交付が行われました。式終了後には、リサイクル分別に関する学習会も行われました。【功労者（敬称略）】
本田七郎、別府修、中竹義人、絵柳キヌ子、大塚明男、大山範昭、図師田美照、永田博道、泉貞範



令和3年度小林市の家庭ごみリサイクル率は58%。リサイクル指導員の皆さんと市民の皆さんの努力により、全国トップクラスを誇っています



宣誓する原嶋さん。消防団員は、地域の消防防災のリーダーとして市民の安心安全を守るという重要な役割を担っています

市民の生命・身体・財産を守る 小林市消防団入退団式を開催

4月3日、令和5年度小林市消防団入退団式が野尻町農村環境改善センターでありました。8人が退団、新たに12人が入団し、今年度は495人が消防団活動にあたります。入団者を代表して第5分団第1部（須木地区）原嶋渉さんは「住民の生命、身体及び財産を保護し、郷土愛護の精神に基づき使命達成に努めます」と宣誓しました。

食生活改善推進員の梯タミさんが 宮崎県公衆衛生功労者表彰を受賞

3月27日、食生活改善推進員の梯タミさんが市長を表敬訪問し、県公衆衛生功労者表彰を受賞したことを報告しました。梯さんは旧野尻町時代から食生活改善推進員を継続し現在25年目。生活習慣病の増大が懸念される中で、食を通して子どもから高齢者まで健やかに過ごせるよう取り組んでいる地域に密着した活動が評価され受賞しました。



梯さんは「これからもサロンなど地域の人たちの食生活改善のための助力になれるよう活動を続けていきたい」と喜びを話しました



和牛・乳牛 93頭、枝肉 48頭が出場・出品 小林市総合畜産共進会

4月6日、第18回小林市総合畜産共進会が小林地域家畜市場で行われました。和牛4部門に76頭、乳牛4部門に17頭が出場し、和牛（種牛）は新設された高等登録群の下村美輝さん、乳牛は経産牛4類の1出場の中村大輝さんがグランドチャンピオンを獲得。また、4月3日に開催された和牛（枝肉）では、山下貞信さんがグランドチャンピオンを獲得しました。

Photo 1 種牛の部グランドチャンピオン下村さん（写真⑥）
2 乳牛種の各部門で優等1席を獲得した受賞者と関係者
3 枝肉の部グランドチャンピオン山下さん出品の枝肉断面図

結果（順位順・敬称略）

■肉用種牛の部

▼育成1類＝下村美輝、谷之木秀幸、末永正博 ▼育成2類＝佐土原望、黒木祐一郎、立山淳二（特別賞／前駆賞） ▼雌子牛＝永野博文、立山健二、脇屋敷誠、吉谷文則、森田正明 ▼高等登録群（2頭セット）＝下村美輝、永久井博昭・永久井雅寛、南蘭久志・南蘭知典

■乳牛種の部

▼育成1類＝中村大輝 ▼育成2類＝永田一成 ▼育成3類＝永田一成 ▼経産牛4類の1＝中村大輝 ▼経産牛4類の2＝熊ノ追哲也

■肉用種枝肉の部

山下貞信、有限会社馬場牧場、森田静夫、西立野義人、竹之内利弘、宮園雄二（脂質賞）

すきむらんどでさくらマルシェ開催

4月2日、すきむらんどで「さくらマルシェ」が開かれました。市内の事業者による食事やお菓子などの販売があったほか、すき酒造の焼酎や山菜の天ぶらの振る舞いも実施。また、e-bikeなどの体験も行われるなど、満開の桜の下、家族連れなどでにぎわいました。



うそ電話詐欺被害防止を推進

4月12日、うそ電話詐欺被害防止推進モデル地区に、紙屋地区のたちね会（久木山市郎会長）が認定されました。県内では、「架空料金請求詐欺」や「還付金詐欺」などが増加。モデル地区では、自動通話録音機の設置の推進などを通じて、防犯意識の向上を図ります。



コバ高生と四季彩館がコラボ 米粉使用のパウンドケーキなど開発



地産地消の推進を目的に、パウンドケーキの生地に小林市産のニンジンやホウレン草も使用。ケーキパーは、若い世代向けにSNS映えを意識しました

小林高校3年の追立斐音さんと假屋くるみさんが、北きりしま物産センター「四季彩館」と連携し、米粉を使ったパウンドケーキとケーキパーを商品化しました。2人は、小麦アレルギーを持つ人の食の幅を広げ、小林市産の米の消費を拡大しようと総合的な探究の時間に活動。学校での試食や販売方法などの検討を経て商品化を実現しました。